

水不足で乳量が伸びず、水を使いすぎて乳房炎が増える

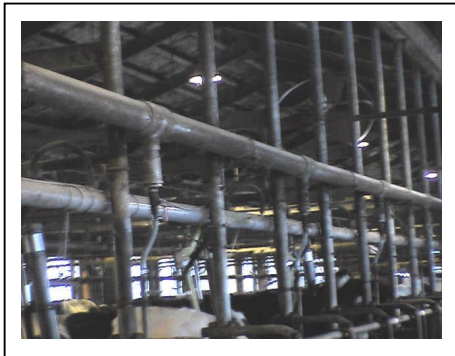
酪農場での「水に関する問題点」を言い表した言葉です。

つなぎ牛舎でもフリーストール牛舎でも飲水量不足が多く、農場で見られます。牛も人と同じに同じ時間帯に多くの牛が水を飲みたがります。一斉に水を飲んだ場合、牛舎の奥ではウォーターカップに水が出ずに、“ずるずる”と音をたてて飲む牛が見られます。これらの様子が見られるのであれば、水不足であるのは間違いありません。ウォーターカップのすべてに水が流れていても、水が出にくくなるウォーターカップはあっては行けません。水圧を上げて解消するよりは、水道配管を太くして解決します。水圧を強くすると勢いよく水が出てカップより溢れます。

ウォーターカップの給水量の基準もあり、近頃は水に関する改良も多くの牛舎で行われています。私が最初に気がついた頃（15年位前）は誰も水の事を言う人はおらず、否定されもしました。しかし、水道配管をたこ足配管にして、給水量を高めてやるとなんと乳量がアップするではありませんか。牛乳もその大半が水である事をお忘れなく。

フリーストール牛舎でも同じ事が言えます。水槽の水がない、汚れていて飲めないなど水に関するトラブルは多くあります。自分が飲んでよい位の新鮮な水をあげたいものです。

つなぎ牛舎の3インチの水道配管



フリーバーンの水槽 汚い 水がない



一方搾乳作業では、乳房乳頭から水が流れ落ちるほどに水を使い、乳頭乳房が濡れてその水のためにライナーリップを誘発し、乳房炎が多く生じます。今では水道のホースで乳房を洗うような人はいないと思いますが、広い日本まだいるような気がします。搾乳時に水を多く使う事は乳房炎のリスクを高めます。できるだけ水を使わない搾乳が勧められているのがこの頃です。搾乳に水を多く使うとマジックウォーターが生じ、細菌を乳房に運びます。乳房炎の原因は細菌である事をお忘れなく。

ホースで水を掛けて乳房を洗う



バケツ1個の水でタオルを洗う

